



2022年5月17日 No.2
全日本建設交運一般労働組合 中央本部

建交労

2022年夏季闘争推進ニュース

5/17 参議院国土交通委員会 全国ダンプ部会長が意見陳述

昨年7月、静岡県熱海市で豪雨による土石流災害が発生し、死者27名行方不明1名が犠牲となり、家屋等の流失を招きました。その災害の原因が「違法盛り土工事」と認定され、翌月には内閣主導による「盛土による災害の防止に関する検討委員会」が発足し、以後全国規模で実態調査が行われました。昨年末に実態調査結果が出され、報告書を踏まえて、今年3月に「盛土規制法」（宅地造成規制法の一部改正）が国会に提出されました。法案の主旨は、盛土工事の施工に対する規制強化がメインとなり、各都道府県知事による「規制区域の設定や管理、施工業者の届け、違反行為者に対する改善命令措置や罰則強化」が法制化されます。



5/17 高橋立顯部会長（手前左）



日本共産党・武田良介参議院議員

建交労全国ダンプ部会は、ダンプの組合員が建設残土を運搬する立場から法制化を積極的に評価すると共に、「各工事現場から搬出される『建設発生土』について元請・発注者が管理責任を負い、適正な処理費用の支払い確保、適正な中間ストック場の確保」が必要不可欠であると議論、意思統一を行ない、この間与野党の各国会議員への要請行動を実施してきました。

全国ダンプ部会の取り組みを理解し、受け止めてくれたのが日本共産党国会議員団でした。特に国土交通委員の高橋千鶴子衆院議員事務所と武田良介参議院議員事務所の支援を得ながら、国交省レクチャーを幾度も行い、4月と5月の国土交通委員会においても建交労の組合員の実態や意見を反映させようと取り上げてもらいました。そして本日の参考人質疑では、労働者の視点からの意見と言うことで、武田議員の紹介で高橋立顯全国ダンプ部会長が意見陳述を行いました。

建交労としては2001年に成立した「入契法」の参考人質疑（当時・栗山嘉明副

委員長)以来、21年ぶりのとりくみとなりました。

その他、野党の共同修正案や衆参の付帯決議へ、建設発生土の追跡や中間ストック場の問題等が反映されることとなり、短期間で一定の変化を作ることができました。盛土規制法は20日に成立の見通しですが、今後は各都道府県に対するガイドラインの作成や国による中間ストック場の実態調査も行われる見通しです。

全国ダンプ部会は、夏のダンプキャラバン行動(公共工事発注当局への要請)でこの問題を取り上げ、建設発生土の管理責任が発注者・元請に徹底されるよう働きかけを続けます。そして熱海市土石流災害が再び繰り返されないよう組合員と共に運動を展開します。

※無所属が質疑を取りやめました。

【事前配付用】
5月13日(金)9:00現在

参议院国土交通委員会(案)

令和4年5月17日(火)

理事会 9:50(24理)

委員会 10:00(24委)

- 宅地造成等規制法の一部を改正する法律案(関法第45号)
(衆議院送付)

・参考人の意見陳述

参 考 人	発言時間	予定時間帯
東京大学大学院農学生命科学研究科教授 蔵 治 光一郎 君	15分	10:00 ~ 10:15
神奈川県県土整備局長 大 島 伸 生 君	15分	10:15 ~ 10:30
全日本建設交通一般労働組合 全国ダンプ部会部会長 高 橋 立 顕 君	15分	10:30 ~ 10:45

・参考人に対する質疑

質 疑 者	会派	質疑時間割当	予定時間帯
足 立 敏 之 君	自民	15分	10:45 ~ 11:00
野 田 国 義 君	立憲	15分	11:00 ~ 11:15
塩 田 博 昭 君	公明	15分	11:15 ~ 11:30
浜 口 誠 君	民主	15分	11:30 ~ 11:45
室 井 邦 彦 君	維新	15分	11:45 ~ 12:00
武 田 良 介 君	共産	15分	12:00 ~ 12:15
木 村 英 子 君	れ新	15分	12:15 ~ 12:30

◎予定時間帯は目安であり、変更になることがあります。